

川崎市健康安全研究所 臨床検体を使用する調査研究概要

研究課題名	食中毒及び感染症事例で検出されたノロウイルスの分子疫学解析
研究の概要	<p>ノロウイルスは、冬季に流行するウイルス性胃腸炎の主な病原体です。食品等を介することによって食中毒を引き起こし、幅広い年齢層に感染します。わが国における食中毒患者数の約半数はノロウイルスが原因となっています。また、感染力が強いいため、集団の中ですばやく感染が拡大します。ノロウイルスによる健康被害を低減させるためには、ウイルスの性状や病原性などを解明することがとても重要です。</p> <p>本研究では、採取させていただいた糞便等の検体に含まれるノロウイルスの遺伝子の並び方を調べ、過去に報告されているノロウイルス遺伝子と比較を行い、ウイルスの変化の過程や特徴を解析します。それにより、流行状況や変異株の出現を的確にとらえ、予防対策に必要な検査体制の構築や予防啓発につなげます。</p>
検体採取期間	平成26年4月1日～平成29年3月31日
研究実施期間	平成28年8月22日～平成29年3月31日
連絡先	川崎市健康安全研究所 微生物担当課長 TEL: 044-276-8250 (代表)